

今月のトピックス

～ こたつの事故にご注意ください ～

NITE製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、こたつによる事故が平成17年度から平成21年度の5年間に179件あり、死亡者が27人(うち60歳代以上が19人)に上ることがわかりました。

こたつの中で乾燥させようとしていた衣類や、中に押し込まれた掛けぶとんが、ヒーター部分にあたって発火する事故が多く発生しています。また、電気こたつの電源コードを踏みつけたまま使用したことにより、コードが半断線状態となってショートし、発火する事故も起きています。こたつの使用が欠かせない季節になりましたが、事故防止のために、取扱説明書等をよく読んで正しく使用してください。

※NITE：(独)製品評価技術基盤機構

◆事故防止のために

- ・こたつの中で衣類を乾かささないでください。
- ・掛けぶとんや座いす、座ぶとんがこたつ内のヒーター部分に触れないようにしてください。
- ・電源コードがこたつの脚等の下敷きになった状態で使用しないでください。
- ・電源コードを折り曲げたり、ねじったりしないでください。

◇平成22年11月の重大製品事故公表情報(消費者庁)

[単位:件 ()内は長野県内での発生件数]

ガス機器・石油機器に関する事故	ガス機器・石油機器以外の製品に関する製品起因が疑われる事故					その他の主な製品の内訳	
	電気洗濯機	電子レンジ	ポータブルDVDプレーヤー	その他			
36 (1)	37 (1)	7	4	4	22	・電気洗濯乾燥機 ・エアコン(室外機) ・自転車用幼児座席 ・テレビ(ブラウン管) ・電動車いす(ハンドル型) ・介護ベッド用手すり	・電気ストーブ ・電気あんか ・空気清浄機 ・IH調理器 ・ベビーカー ・扇風機

※ 詳細な情報は、消費者庁のホームページをご覧ください。
(<http://www.caa.go.jp/safety/index.html>)

湯たんぽの過熱方法に注意しましょう

古くから用いられている湯たんぽですが、最近では電子レンジで温めるタイプや、IHヒーターでも直接過熱できるタイプの湯たんぽが販売されています。しかし、扱い方を間違えたことによる事故も起きていますので、以下の事故事例、注意点を参考に取扱いには十分注意しましょう。

【電子レンジで過熱するタイプ】

- ・電子レンジの「あたためオート」モードで過熱したら、破裂して中のジェルで顔面にやけどを負った。
→オート過熱機能を使うと加熱時間が長くなり、高温の内容物が外へ漏れ出たり、破裂したりして大きな事故になる危険性があります。本体表示や取扱説明書の加熱時間、出力を守りましょう。

【IHヒーター等に直接のせて過熱できるタイプ】

- ・湯たんぽの口金(キャップ)を外さずにIHヒーターで過熱したら破裂した。
→口金を外さずに直接過熱すると内圧が異常に高くなり大変危険です。必ず口金を外して過熱してください。また、万が一、口金をしたまま過熱してしまった場合には、途中で口金を外さず火を止め十分冷ましてから外しましょう。

【発行】長野県 企画部 消費生活室

電話:026-223-6770

ホームページ:<http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/seikatsu/jyouhou/seihin-anzen.htm>